

# KITASEIENNO SHINKIN BANK Disclosure 2020

2020年3月期 ミニディスクロージャー



# KITASEUENO SHINKIN BANK

## Disclosure 2020

### ごあいさつ



会長 市川克美



理事長 南部和典

皆さまには平素より北伊勢上野信用金庫をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、当金庫に対するご理解を一層深めていただくため、「2020年3月期ミニディスクロージャー」を作成いたしました。当金庫の業績や活動状況をできるだけわかりやすくご案内しておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

第六次中期経営計画の2年目を迎える今年度は、日々変化する環境にも対応し得る柔軟で強靱な組織を築き、

収益力に裏付けされた磐石な経営基盤を構築し、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたお客さまへの資金繰り支援や課題解決支援を最優先に、地域の皆さまのご期待にしっかりとお応えしていく所存です。役職員一同全力を尽くしてまいりますので、何卒倍旧のご支援、ご愛顧を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2020年7月

### 経営理念

- 地域金融のプロフェッショナルとしてお客さまの夢の実現に貢献します。
- 自己啓発に励み、手づくりで良質な金融・情報サービスを提供します。
- 健全で活力ある前向きな経営を心がけ、地域社会の皆さまとともに繁栄します。



### 北伊勢上野信用金庫

設 立	昭和4年6月6日
本店所在地	四日市市安島二丁目2番3号
出 資 金	34億円
店 舗 数	30店舗(うち出張所2ヵ所)
役 職 員 数	359人
預 金 積 金	4,124億円(預金には譲渡性預金を含みます。)
貸 出 金	2,051億円

(2020年3月31日現在)

## 第六次中期経営計画(2019~2021年度)

2019年度より「第六次中期経営計画 One Company One Vision ~磐石な経営基盤の確立に向けて~」をスタートさせました。三重県の北中部地域に位置し、中部関西両経済圏にまたがる唯一の信用金庫として、盤石な経営体力を維持し、地域の皆さまの期待にしっかりと応ええる金融機関となるよう、役職員一同が一丸となって取り組んでいます。

### 行動指針

- 1 お客さまの一番身近な金融機関を目指します
- 2 お客さまから信頼される金融機関を目指します
- 3 果敢に挑戦する金融機関を目指します

### 経営ビジョン

時代に合った信用金庫の原点回帰

信用金庫創立の原点である「相互扶助」の精神に基づき、『信用金庫業界の総合力×当金庫の“強み”』を活かし、「金融仲介機能の十分な発揮」と「家計の安定的な資産形成のサポートを行う」ことにより、地域金融機関としての強固な経営基盤と確固たる地歩を確立する

## お客さま本位の業務運営にかかる取組実績をKPIとして策定、公表しました

2018年3月に策定した「お客さま本位の業務運営にかかる取組方針」に基づく活動成果を評価・検証するための指標(KPI)を作成し、ホームページ上にて公表しました。今後も取組方針や本指標を公表するとともに、社会情勢や経営環境の変化等をふまえ、定期的に見直しを行ってまいります。

## 「業種研究会」を立ち上げました

“職員の勉強の場”として「業種研究会」を立ち上げ、2019年度は一般貨物自動車運送業について7名の職員が研究、12月には研究成果発表会を行いました。

今後もさまざまな業種について研究し、そのビジネスモデルを理解することで、地域の事業者さまのお役に立つ提案を行っていきたいと考えております。



## 「通帳アプリ」の取扱いを開始しました

「通帳を持たずにスマートフォンを使って口座を管理したい」「リアルタイムに取引明細情報を確認したい」というニーズにお応えし、個人のお客さまを対象に「しんきん通帳アプリ」の取扱いを開始しました。

いつでもどこでも、残高や過去2年分の取引明細をスマートフォンで確認いただけます。



## きたしん諏訪太鼓チーム 地元祭りで演奏

昭和51年に結成された伝統あるきたしん諏訪太鼓チームは、毎年大四日市まつりに出演し、四日市市内を巡回、地域の皆さまとの交流を深めています。8月には開港120周年四日市港まつり



でも演奏し、世界最大級の帆船「海王丸」の入港イベントで迫力ある太鼓の音を響かせました。

## ホームページを全面リニューアルしました

画面幅や表示エリアをワイド化し、タブレット端末やスマートフォンでもご利用いただきやすい、タッチ操作にすぐれた画面としました。

また、「事業者のお客さま」の 카테고리を新設し、事業者さま向けの情報を整理するなど、お客さまがより見やすいホームページとしました。



## 「後見支援預金」の取扱いを開始しました

後見制度を利用しているお客さまや利用を検討されているお客さまに対して、「後見支援預金」の取扱いを開始しました。払戻や解約には家庭裁判所が発行する「指示書」が必要となり、後見制度による支援を受ける方(ご本人)の財産を安全・適切に管理できる普通預金です。

# 地域の皆さまとともに

## 2019年度の主な取組み

4月

個人向け信託商品の取扱いを全店舗に拡大

経済クラブ総会・講演会

～北伊勢地区 講師: 諏訪 貴子 氏(ダイヤ精機株式会社 代表取締役)

「町工場発! 二代目社長の経営改革と人財育成」

～上野地区 講師: 小和田 哲男 氏(静岡大学名誉教授)

「戦国武将に学ぶ“生き残り戦略”～現代にも通じる逆境を乗り越える知恵～」

名南M&A株式会社との「M&A仲介業務に関する協定書」締結



経済クラブ講演会

5月

お客さま本位の業務運営にかかる取組実績をKPIとして策定、公表

デザミス株式会社とのビジネスマッチング契約締結

～IoTを活用した牛の行動モニタリングシステム「U-motion®」の提供

事業承継M&Aセミナー実施(共催:三重県、名南M&A株式会社、株式会社ビズリーチ)

2019年度新入職員自衛隊研修(陸上自衛隊 久居駐屯地)

6月

サマーキャンペーン(～8月)

四日市まちゼミサテライトin近鉄四日市に参加

～「つみたてNISAって何?」

第91期通常総代会

7月

営業地区変更(津市、滋賀県甲賀市 一部地域から全域へ)

「東海地区しんきん日本酒カタログ」を作成し、東海4県下の酒蔵68か所を紹介

ジュニアクラブ「人形劇&絵本ライブ」



東海地区しんきん日本酒カタログ

8月

課題解決支援として、しんきんコラボ産学官Mieを通じ

三重大学との共同研究を橋渡し

～伊賀市奥馬野で水力発電所が60年ぶりに復活

きたしん諏訪太鼓チーム

開港120周年四日市港まつり・大四日市まつりで演奏

ジュニアクラブ「茶道教室」「デーキャンプ」

第3回北伊勢上野信用金庫杯

鈴鹿市ジュニアバレーボール交歓大会開催、協賛

上野天神祭「ダンジリ行事」運営資金をクラウドファンディングで募集

～目標金額70万円達成



馬野川小水力発電所

9月

第5回四日市まちゼミに参加

～「一喜一憂しなくていい はじめてのつみたてNISA」

経済クラブ社会見学

～北伊勢地区「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館と千代保稲荷神社」

～上野地区「朝日新聞京都工場見学とフレンチテーブルマナー昼食」

「後見支援預金」取扱開始

～被後見人の財産を安全・適切に管理

「伊賀未来住宅向け40年返済型住宅ローン」および

「金利優遇プレミアムカードローン」取扱開始



ジュニアクラブ「デーキャンプ」

10月

地域企業応援パッケージ商品「アクティブ・サポート」取扱開始  
～日本政策金融公庫との協調融資商品第2弾

J-Debit(デビットカード)キャッシュレス・消費者還元事業へ参加

第14回ビジネスフェア2019

地域活性化プロジェクト事業  
「観光・産業振興×キャッシュレス決済普及キャンペーン」実施

しんきんコラボ産学官Mie「企業見学会」  
～「宮川バネ工業株式会社」「アインズ株式会社」(滋賀県東近江)

「第8回四日市JAZZ FESTIVAL」へ会場提供



第14回ビジネスフェア2019

11月

子会社「きたしんビジネスサービス株式会社」を吸収合併

鈴鹿市との「地域における見守り活動等協力に関する協定  
(SUZUKAまるごとアイネット)」締結

店外ATM イオンタウン四日市泊出張所開設

「通帳アプリ」取扱開始

地区別総代理談会



しんきんコラボ産学官Mie「企業見学会」



鈴鹿市との協力協定



サポート人材交流会



ご当地きゃらくたー自由帳

12月

マルチQRコード決済サービス取扱開始

経験値活用型サポート人材交流会実施  
(主催:中部経済産業局、当金庫)

ウィンターキャンペーン(～1月)

1月

経済クラブ初詣  
～北伊勢地区「伏見稲荷神社」  
～上野地区「豊川稲荷神社」

2月

第6回伊賀上野まちゼミに参加  
～「老後に向けての資産形成と知って得する相続・贈与」

3月

新小学一年生へ「ご当地きゃらくたー自由帳」を寄贈

新型コロナウイルス感染拡大に関連した  
休日融資相談窓口の設置

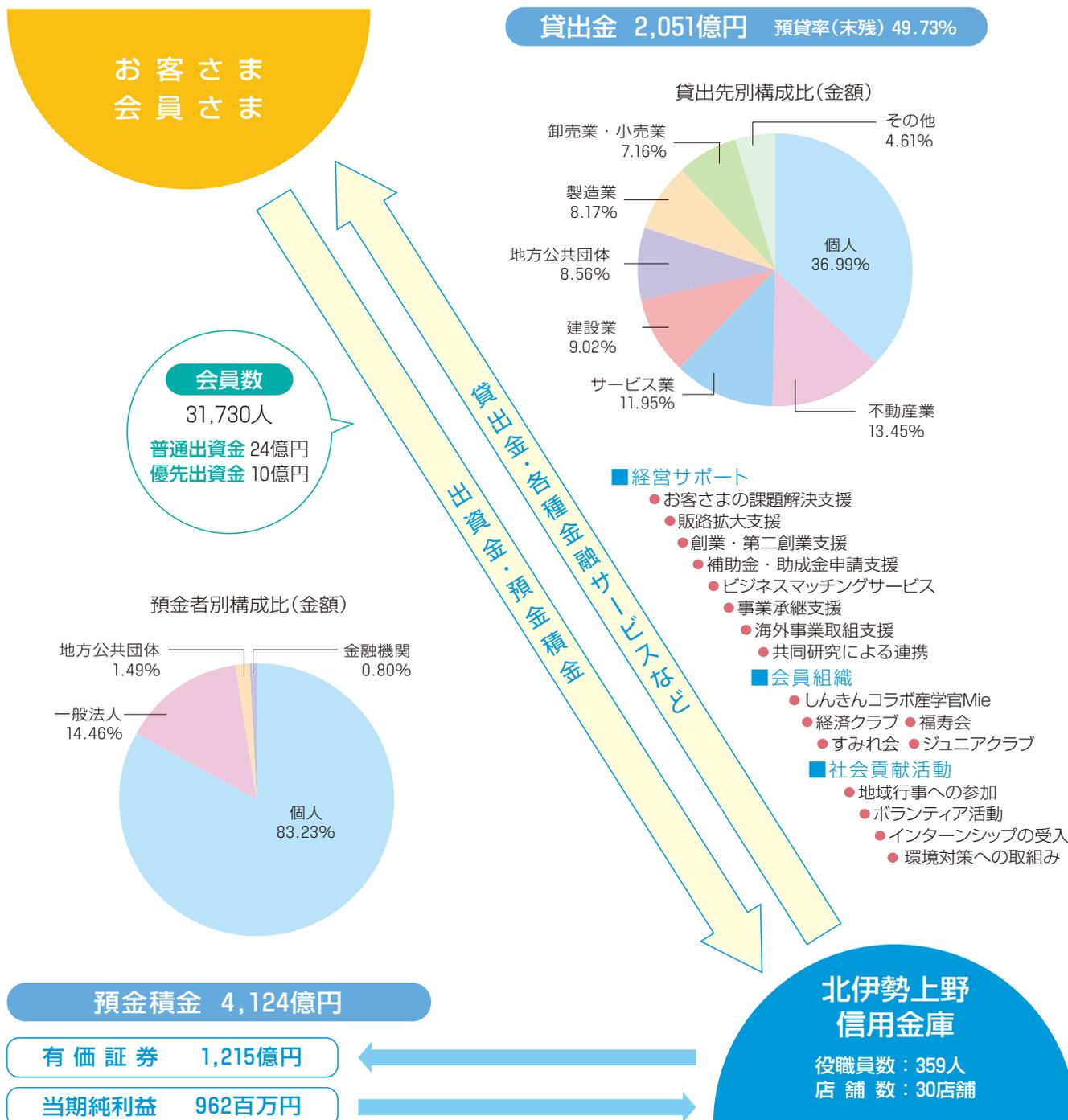
給与振込キャンペーン(～6月)

住吉支店、青山支店の窓口営業時間を変更し、昼休業を導入

## 北伊勢上野信用金庫と地域社会

「信用金庫」とは、限られた地域を営業エリアとする地域住民や地域の中小企業のための金融機関です。株式会社である「銀行」と違い、会員の出資による協同組織の金融機関であり、「非営利と相互扶助」を基本理念としています。

当金庫は、三重県の北勢、伊賀・名張地域を主要な営業エリアとして、地元のお客さまからお預かりした大切な資金(預金積金)を地元のお客さまに広くご融資し、地域経済の安定や活性化に努めております。



※各種計数は2020年3月末の実績です。  
※預金積金には譲渡性預金を含みます。

お客さまに経営の状況をお伝えし、お客さまのご意見を経営に活かしています

「地区別総代懇談会」を定期的で開催し、金庫の業況や地域経済を取り巻く環境などについてきめ細かな意見交換を行っております。2019年度は3地区で開催し、39名の総代の皆さまにご参加いただきました。

## 文化的・社会的貢献活動

当金庫は、地域社会の発展や豊かな暮らしづくりのためにさまざまな活動を通して、地域の文化・スポーツ振興、社会福祉の向上に努めています。

### 「伊賀FCくノ一」を応援しています

なでしこリーグ「伊賀FCくノ一」の全てのホームゲームに当金庫職員がスタッフとして参加しています。2016年度から会場広告のほか、トレーニングウェアへの広告掲載を行い、さらなる飛躍を応援しています。



### インターンシップ(職場体験会)の受入れ

2019年度は中学校3校、高等学校3校のインターンシップを受け入れました。

### 「まちゼミ」でセミナーを開講しました

「つみたてNISAって何?」・「老後に向けての資産形成と知って得する相続・贈与」をテーマに、当金庫の専門スタッフが、四日市・伊賀上野の「まちゼミ」でマネーセミナーを計4回開講しました。大変好評をいただいております。今後も継続して開講してまいります。



### 「伊賀上野NINJAフェスタ」へ参加(4月~5月)



忍びの里・伊賀市の恒例イベント「伊賀上野NINJAフェスタ」期間中、上野営業部では赤や紺などのカラフルな忍者衣装で窓口業務や渉外活動を行っております。また、忍者体験ができる「まちかど忍者道場」に職員がボランティア参加しています。

### きたしん諏訪太鼓チーム、地元祭りで演奏(8月)

毎年、大四日市まつりに協賛するとともに、諏訪太鼓チームが出演しております。昭和51年に結成された伝統あるきたしん諏訪太鼓チームは、大四日市まつりに出演し、四日市市内を巡回、地域の皆さまとの交流を深めています。8月には開港120周年四日市港まつりでも演奏し、世界最大級の帆船「海王丸」の入港イベントで迫力ある太鼓の音を響かせました。



### 鈴鹿市ジュニアバレーボール 「北伊勢上野信用金庫杯」開催(8月)

当金庫が協賛する鈴鹿市ジュニアバレーボール交歓大会が「第3回北伊勢上野信用金庫杯」として開催されました。鈴鹿市のほか、四日市市、菰野町、亀山市、伊賀市の32チームに参加いただき、4会場に分かれて熱戦が繰り広げられました。



### 「上野天神祭」への参加(10月)

伊賀路の秋の風物詩となっている上野天神祭では、賑やかな囃子にのせて、絢爛豪華な「だんじり」が城下町を練り歩き、400年前の賑わいを今に伝えています。当金庫は、祭りの見どころの一つである鬼行列とだんじり巡行に参加しております。また、2017年度から警備資金をクラウドファンディングで募集し、3年連続で目標金額に達しました。



### 鈴鹿市と「地域における 見守り活動等協力に関する協定」締結(11月)



鈴鹿市と協力協定(SUZUKAまるごとアイネット)を締結しました。業務内で高齢者の見守りを行うほか、道路破損や不法投棄の発見など、異常があれば市へ情報提供を行います。当金庫は地域の一員として、住民の皆さまが安心して暮らせる地域社会づくりを目指しています。

### 新小学一年生へ「ご当地きゃらくたー自由帳」を プレゼントしました(3月)

当金庫の通帳やキャッシュカードにデザインされている「ご当地きゃらくたー」の自由帳を、本支店が所在する市町村の小学校(117校)に入学した小学一年生のお子様全員にプレゼントしました。今後も地域密着型金融機関として地域活性化、子育て応援に積極的に取り組んでまいります。



### ベルマークを収集、寄贈しました

昨年に引き続き「ベルマーク収集運動」を実施しました。1点1円として学用品や備品などと交換できることから、収集したベルマーク33,000点を当金庫営業エリア内にある特別養護学校5校に寄贈しました。

その他、趣味の書道・写真・絵画などの作品展や「がんを知る展」「伊賀FCくノ一写真展」など、さまざまな展示会を定期的で開催しております。

## 中小企業の経営支援にかかる態勢

企業のライフステージ



### 外部支援機関・専門家との連携

<p><b>創業支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●商工会議所・商工会</li> <li>●株日本政策金融公庫</li> <li>●三重県信用保証協会</li> <li>●freee(株)</li> <li>●日本管理センター(株)</li> <li>●READYFOR(株)</li> </ul>	<p><b>経営課題解決(生産性向上)支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(独)中小企業基盤整備機構</li> <li>●三重県よろず支援拠点</li> <li>●TKC中部会</li> <li>●株ミッドランド経営</li> <li>●株BIZサポート</li> <li>●オリックス(株)</li> <li>●株エフアンドエム</li> <li>●中小企業診断士</li> <li>●弁理士、司法書士</li> <li>●デザミス(株)</li> </ul>	<p><b>経営改善・事業再生支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●中小企業再生支援協議会</li> <li>●みえ中小企業再生ファンド</li> <li>●K'Sコンサルティングオフィス</li> <li>●株タクミコンサルティング</li> <li>●安田税理士事務所</li> <li>●企業再建・承継コンサルタント協同組合</li> <li>●公認会計士、税理士、弁護士</li> </ul>	<p><b>ビジネスマッチング支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●信金中央金庫</li> <li>●信用金庫</li> <li>●ものづくりB2Bネットワーク</li> <li>●株あおぞら銀行</li> <li>●よい仕事おこしネットワーク</li> </ul>
<p><b>事業承継・M&amp;A支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●信金キャピタル(株)</li> <li>●株日本M&amp;Aセンター</li> <li>●株エクステンD</li> <li>●株ビズリーチ</li> <li>●事業引継ぎ支援センター</li> <li>●名南M&amp;A(株)</li> </ul>	<p><b>海外展開支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●信金中央金庫</li> <li>●日本貿易振興機構</li> <li>●セコム三重(株)</li> <li>●総合警備保障(株)</li> </ul>	<p><b>成長分野支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区</li> <li>●みえライフイノベーション総合特区</li> </ul>	<p><b>産学連携・ものづくり支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地方公共団体</li> <li>●商工会議所・商工会</li> <li>●三重大学・四日市大学</li> <li>●鈴鹿工業高等専門学校・近畿大学工業高等専門学校</li> <li>●しんぎんコラボ産学官Mie</li> <li>●SUZUKA産学官交流会</li> </ul>

### 経営支援に関する主な取組み

- 事業性評価シートを活用し、お客さまの抱える経営課題に対して速やかに応えられる体制を構築しています。
  - ▶お客さまのトップラインを上げるため販路拡大支援に取り組んでいます。
  - ▶お客さまの創業・第二創業における計画書作成やご融資、政府系金融機関のご紹介を行っています。
  - ▶お客さまの後継者問題等による事業承継支援やM&Aにも積極的に取り組んでいます。

(2019年度実績)

主な支援内容	相談先数	成約先数	成約率
販路拡大支援	99	35	35.3%
創業・第二創業支援	60	55 <sup>(1)</sup>	91.7%
事業承継支援	11	2	18.2%
M & A 支援	12	1	8.3%

(1) 創業16先、創業期33先、第二創業6先

(2) 株式会社日本政策金融公庫との連携支援15先

## 地域密着型金融の取組み

当金庫は、従来から、地元へ根ざした金融機関としてお客さまとの密接な関係を活かし、地域密着型金融を推進し、様々な施策に取り組んでまいりました。2019年度よりスタートした「第六次中期経営計画(2019~2022年度)」においても、お客さまの経営支援、海外展開支援、事業承継支援などに積極的に取り組み、地方創生・地域活性化に資することで、さらなる地域密着型金融の深化を目指しております。

### 1. お客さまへのコンサルティング機能の発揮

事業性評価に基づく融資、事業性評価に基づく本業支援でお客さまのライフステージに応じたさまざまなサポート活動を実施しています。

### 2. 地方創生・地域活性化への積極的な参画

地域に根ざした産業への支援や、創業支援・事業承継支援により地域産業の活性化と雇用の創出に努めています。

### 3. 地域やお客さまへの積極的な情報発信

地方創生に関する課題解決に向けて、地方公共団体への情報発信による連携を強化し、お客さまとの対話による課題把握と解決に向けての有益な情報提供に努めています。

## 金融円滑化のための取組み

当金庫では、地域の事業者さまおよび個人のお客さまに必要な資金を安定的に供給し、地域経済の発展に寄与するため、地域金融の円滑化に積極的に取り組んでおります。

### 金融円滑化の基本方針

1. 地域のお客さまに必要な資金を安定的に供給することは、当金庫の最も重要な社会的役割の一つであり、お客さまからのお借入れのお申出や、お借入れの弁済負担軽減等に関わるご相談等には親身な対応を心がけ、可能な限りお客さまのご希望に沿うよう努力いたします。
2. ご融資の判断にあたっては、決算内容等の表面的な計数や特定の業種であること等、お客さまの外形的な事実だけでなく、経営実態や特性をきめ細かく検討するなど、個別企業や個人の実情に応じた的確な融資判断・検討を行います。
3. お客さまからのお申出事項に対しては、お客さま本位の姿勢で、契約内容や結論に至った理由・経緯を可能な限り丁寧に説明いたします。
4. お客さまにとって必要と判断した場合には、可能な限り経営指導・助言を行うよう努めます。
5. お客さまからのご照会・ご相談・ご要望・苦情等については、真摯な対応に努めます。
6. お客さまからのお借入れの弁済負担軽減等に関わるご相談等に際して、他の金融機関や信用保証協会等と緊密な連携を図る必要が生じたときは、守秘義務に留意しつつ、お客さまの同意を得たうえで、これらの関係機関と緊密な連携を図りながら地域金融の円滑化に努めてまいります。

## 「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

なお、2019年度において、新規に無保証で融資をした件数は357件、新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は6.6%、保証契約を解除した件数は25件となっており、同ガイドラインに基づく保証債務整理の成立(当金庫をメイン金融機関として実施したものに限る。)はございませんでした。

### しんきんコラボ産学官Mie

「しんきんコラボ産学官Mie」は、平成20年7月、「産学官+金融機関」の連携組織として設立し、技術開発等経営課題を抱える会員事業者さまに対して、コラボ産学官のネットワークを活用しながら、大学等との橋渡しや資金的支援を行っております。

#### しんきんコラボ産学官Mieの主な取組み

- ▶ 経営者セミナーの開催 ▶ 企業訪問、工場見学の実施
- ▶ 三重大学等との共同研究(研究案件累計78件、共同研究50件)
- ▶ メールマガジンによる情報発信

「こんな技術はないだろうか」、「生産性を向上させるにはどうしたらいいだろうか」、「どうやってPRしようか」などのご要望に対する情報提供や支援を行っております。

**会員資格** 三重県内に勤務または居住し、あるいは事務所を有する個人または企業(団体)

**会費** 年間5千円

### 三重県信用金庫事業共同化プロジェクト

県内の信用金庫で構成する三重県信用金庫協会は、業務推進、事務、監査、人事教育等の情報交換や、外部機関からの情報収集などを永年にわたって行っています。現在は、信用金庫ブランドの向上やさらなるサービス向上を目的として、事業の一部共同化も開始しております。今後も、事業共同化によるスケールメリットを活かしつつ、信用金庫のセントラルバンクである信金中央金庫との連携をさらに強化し、地元のお客さまのお役に立ちたいと考えております。



# 当金庫について

## 貸借対照表

第92期 2020年3月31日現在

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	5,010	預 金 積 金	409,484
預 け 金	93,038	譲 渡 性 預 金	3,000
買 入 金 銭 債 権	677	借 用 金	2,100
有 価 証 券	121,534	そ の 他 負 債	1,151
貸 出 金	205,156	賞 与 引 当 金	154
そ の 他 資 産	2,748	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	99
有 形 固 定 資 産	5,461	睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	19
建 物	1,893	偶 発 損 失 引 当 金	15
土 地	3,127	再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	454
リ ー ス 資 産	268	債 務 保 証	1,071
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	172	負 債 の 部 合 計	417,551
無 形 固 定 資 産	38	普 通 出 資 金	2,420
ソ フ ト ウ ェ ア	18	優 先 出 資 金	1,000
リ ー ス 資 産	8	利 益 準 備 金	2,530
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	11	そ の 他 利 益 剰 余 金	10,023
前 払 年 金 費 用	227	特 別 積 立 金	8,940
繰 延 税 金 資 産	1,304	当 期 未 処 分 剰 余 金	1,083
債 務 保 証 見 返	1,071	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	187
貸 倒 引 当 金	△ 1,353	土 地 再 評 価 差 額 金	1,201
(うち個別貸倒引当金)	(△ 1,135)	純 資 産 の 部 合 計	17,363
資 産 の 部 合 計	434,915	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	434,915

## 損益計算書

第92期 2019年4月1日～2020年3月31日(単位:千円)

科 目	金 額
経 常 収 益	5,997,973
資 金 運 用 収 益	4,723,122
貸 出 金 利 息	3,273,911
有 価 証 券 利 息 配 当 金	1,256,022
役 務 取 引 等 収 益	752,916
そ の 他 業 務 収 益	357,969
そ の 他 経 常 収 益	163,964
経 常 費 用	5,053,332
資 金 調 達 費 用	329,223
預 金 利 息	171,415
役 務 取 引 等 費 用	468,026
そ の 他 業 務 費 用	144,503
経 費	3,830,225
そ の 他 経 常 費 用	281,354
経 常 利 益	944,640
特 別 利 益	51,540
特 別 損 失	3,715
税 引 前 当 期 純 利 益	992,466
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	6,419
法 人 税 等 調 整 額	23,665
当 期 純 利 益	962,380
繰 越 金 (当 期 首 残 高)	108,590
土 地 再 評 価 差 額 金 取 崩 額	12,502
当 期 未 処 分 剰 余 金	1,083,473

## 預金・貸出金の状況

預金積金残高は、法人預金の増加などにより、前年度末比10億円増加の4,124億円となりました。

貸出金残高は、地域の皆さまの課題解決や資金需要にお応えし、前年度末比56億円増加の2,051億円となりました。

### ●預金積金の推移

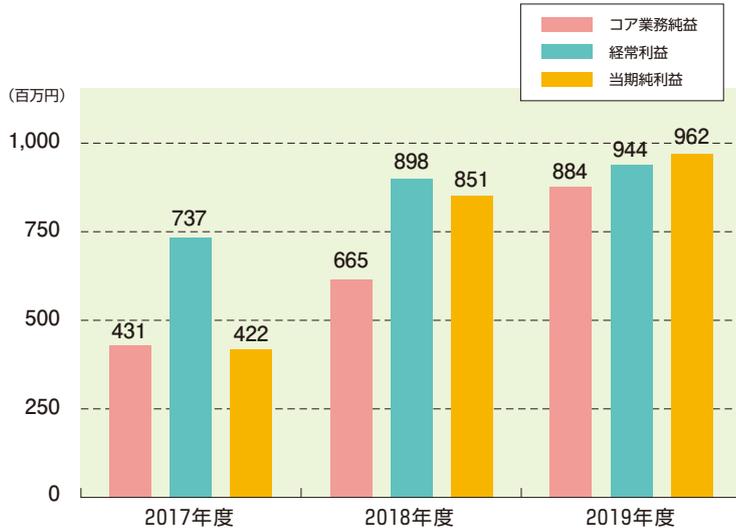


※預金積金には譲渡性預金を含みます。

### ●貸出金の推移



## 損益の状況



貸出金利息・役務取引等収益が増加したことや経費削減の結果、コア業務純益は前年度比218百万円増加の884百万円、経常利益は46百万円増加の944百万円、当期純利益は110百万円増加の962百万円となりました。

### コア業務純益とは

一般企業の営業利益にあたる業務純益から、国債等債券の売買損益など一時的な変動要因を除いたもので、より実質的な本業での収益力を表します。

### 経常利益とは

金融機関の経常的な営業活動の成果を表すもので、金融機関の営業に通常発生する収益(経常収益)から費用(経常費用)を控除したものです。

### 当期純利益とは

経常利益に特別損益を加減算した利益から法人税、住民税及び事業税を控除し、さらに税効果会計による法人税等調整額を加減算したものです。

## 自己資本比率の状況



自己資本比率は8.48%と、国内で業務を営む金融機関の基準(国内基準)の4%を十分に上回る水準を確保しております。引き続き経営の健全化・効率化を推し進め、自己資本の充実を図ってまいります。

### 自己資本比率とは

自己資本額をリスク・アセット(貸出金や有価証券などの資産をリスクの度合いに応じた金額に換算して積算したもの)等の額で除したもので、経営の安全性・健全性・企業体力(リスクへの耐性)等を表す代表的な指標です。

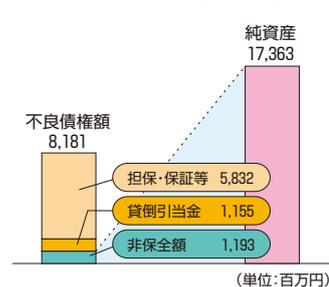
$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本額}}{\text{リスク・アセット等}} \times 100\%$$

## 不良債権の状況



金融再生法に基づく不良債権額は8,181百万円、不良債権比率は3.96%と低水準を保っており、さらに担保や保証等でカバーするとともに、万が一の貸倒に備えて十分な引当処理をしております。

### 不良債権の保全状況 (2019年度末)



不良債権はすべてが損失につながるわけではなく、担保・保証等および貸倒引当金によりカバーされています。また、非保全部分についても純資産により十分対応できる水準となっております。

# 店舗ネットワーク



## 相談プラザ



「相談プラザ」では、経験豊富な専門スタッフが、お客さまからのさまざまなご相談を承っています。

店内には、お客さまのプライバシーをお守りする相談ブースも設置しておりますので、お気軽にご利用下さい。

### 中小企業支援相談

○創業、事業計画策定、事業承継、M&A、海外展開、新商品・新技術開発に関するご相談

### 相談業務

○税務(相続・遺言・贈与)関連のご相談  
○資産活用・運用に関するご相談

### ローン・年金相談

○住宅ローンなど住宅に関するご相談  
○各種個人ローンのご相談  
○年金全般に関するご相談

### 相談プラザ 四日市

平日

※土曜日・日曜日・  
祝日は休業日と  
なります

9:00~15:00

### 中小企業支援相談

TEL.059-354-9975

### 相談業務

TEL.059-354-9976

### 相談プラザ 名張 (名張支店内)

平日

および日曜日  
※土曜日・祝日は  
休業日となります

9:00~15:00

### ローン・年金相談

TEL.0595-62-3700

### 相談業務

TEL.0595-62-5600

※相談プラザ名張につきまして、  
日曜日と祝日が重なった場合は営業いたします。  
※一部の業務につきましては、  
予約制もしくは平日のみとさせていただきます。  
詳しくはホームページをご確認ください。

